

2024年度環境行動計画

2024年4月1日作成
丸大トラック株式会社

1. 現状の取組みに対する評価・課題及び目標

項目	現状に対する評価・課題	目標
環境保全のための仕組み・体制の整備	2016年度から環境方針を会社ホームページに載せ、社外にひろく公表するに至っているものの、環境報告書を社外に公表するまでには至っていない。	当社の環境報告書フォームを作成し、環境報告書をHPなどで公表できるような体制にする。
エコドライブの実施	2022年度は燃費対前年比100.0%(NP関係)となった。自社のドライブレコーダーデータ及びデジタコデータを基にした社内教育活動は充実したものになっている。停車時の早めのアクセルオフも確実に実施されている。デジタコデータからも早めのシフトアップが習慣化されていることがわかるが、燃費改善には至っていない。	2023年度 燃費向上 対前年比101.0%! 早めのシフトアップに関して、自社のデータをディーラーに分析してもらうことで、ベストなシフトアップ、アクセルの踏み方のタイミングを模索し、更なるエコドライブ推進を図る。
低公害車の導入	2023年度は、ウイング車を2024年1月に更新予定	低公害車の導入率を向上させる
自動車の点検・整備	2016年9月に作成した自社点検整備要領書をもとに、各車両の点検を適正に実施している	自社点検整備要領書の運用確認が必要。また、修理単価が高騰しているため、修理費削減につなげるのは困難であるが、突発的な故障を減らすなどの工夫をする。
廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進	廃棄物マニフェストの適正管理は実施した。	今後も継続して、適正管理していく
管理部門(事務所)における環境保全の推進	昨年に引き続き、電力使用量の統計をデータ化している。	電力使用量5%削減 事務用品のリサイクル品購入の推進

2. 具体的な取組み内容

項目	取組み項目(何を)	目標(どの程度)	方策(どのように)	責任者(誰が)	達成時期(いつまでに)
環境保全のための仕組み・体制の整備	環境報告書作成		当社の取組み内容がすぐわかるような書式の環境報告書を作成する	比良	通期
エコドライブの実施	燃費向上	対前年比101.0%向上	教育資料の作成及び1ヶ月に1回自社講習会を開催する	八鍬取締役部長 久保田課長	通期
	月に一度の社内会議で、乗務員教育活動を更に充実したものにする	毎月1回	ドライブレコーダーのデータを利用して、乗務員の運転の癖などを客観的に見れるようにする	八鍬取締役部長 久保田課長	通期
低公害車の導入	2025年3月にバルク車更新予定			比良	
自動車の点検・整備	今後も継続して、適正管理していく			八鍬取締役部長 佐藤リーダー 屋敷リーダー	通期
廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進	今後も継続して、適正管理していく			八鍬取締役部長 佐藤リーダー 屋敷リーダー	通期
管理部門(事務所)における環境保全の推進	電力使用量削減	前年比5%削減	休憩時間のパソコン電源オフ 電気ストーブをこまめに切る 照明の消灯を随時行う	役員全員	通期
	リサイクル品購入の推進		ゴミ容器にゴミの種類を明示。エコマーク品の購入を推進する。	役員全員	通期